

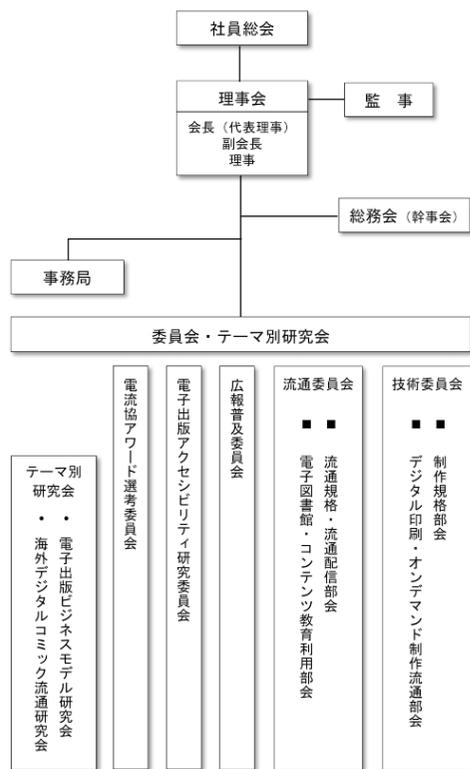
電子書籍について

一般社団法人 電子出版制作・流通協議会

電子出版制作・流通協議会について

電子出版制作・流通協議会（電流協）は日本の電子出版産業の成長と健全な発展のための環境の実現を目的に、2010年7月に発足いたしました。

電流協は委員会活動を通じて、会員社である電子出版の制作会社並びに電子書籍ストアを中心とした流通企業等と共に、新たなビジネスモデルの研究や情報共有、並びに電子出版の普及活動を行っております。



幹事会員（2社）
大日本印刷株式会社
凸版印刷株式会社

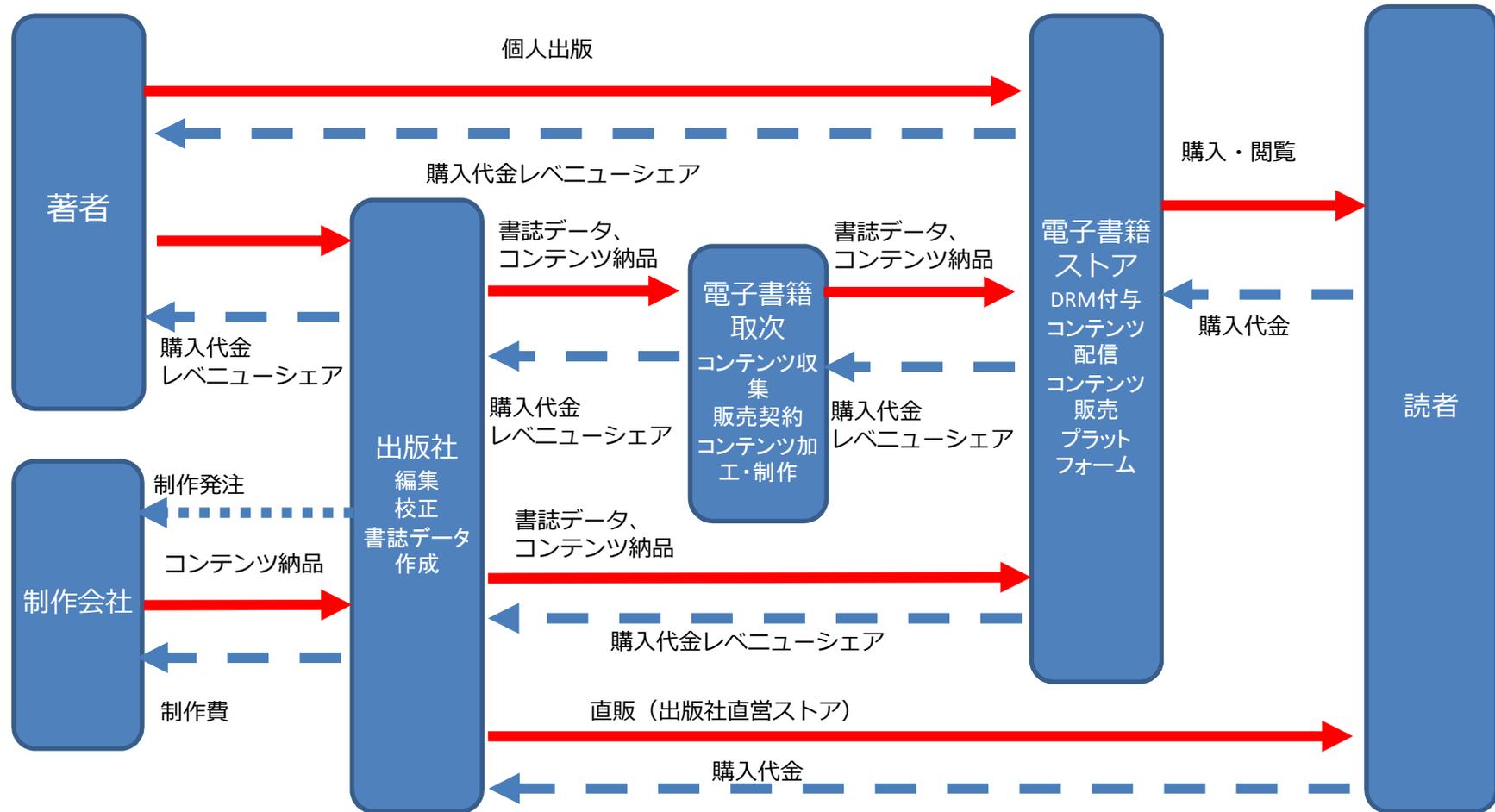
一般会員（19社）
アライド・ブレインズ株式会社
NECネクサソリューションズ株式会社
株式会社エムティーアイ
キャノンプロダクションプリンティングシステムズ株式会社
共同印刷株式会社
株式会社トウ・ディファクト
図書印刷株式会社
豊国印刷株式会社
株式会社日本HP
日本ユニシス株式会社
株式会社ファンタジスタ
富士通株式会社
株式会社ブックウォーカー
株式会社BookLive
ホリゾン・ジャパン株式会社
丸善CHIホールディングス株式会社
株式会社メディアドゥ
株式会社モバイルブック・ジェーピー
楽天株式会社

賛助会員（26社）
一般社団法人ICTCONNECT21
株式会社暁印刷
株式会社インターネットイニシアティブ
株式会社エディボック
O2O Book Biz株式会社
小野高速印刷株式会社
京セラコミュニケーションシステム株式会社
株式会社共同通信社
株式会社クリーク・アンド・リバー社
株式会社光和コンピューター
株式会社コンテンツジャパン
株式会社数理計画
株式会社想隆社
株式会社ソニーミュージック・エンタテインメント
株式会社第三文明社
株式会社千代田プリントメディア
株式会社デジタル・オンデマンド出版センター
デジタルタグポート株式会社
一般社団法人日本印刷産業連合会
株式会社ニューブック
株式会社ヒューモニー
富士ゼロックス株式会社
株式会社Books & Company
株式会社ブックスキャン
NPO法人HON.jp
リコージャパン株式会社

特別会員（9名）
岩本 敏（元小学館）
植村八潮（専修大学）
岸 博幸（慶應義塾大学大学院）
佐々木隆一（一般社団法人著作権情報集中処理機構）
高野明彦（国立情報学研究所）
野口武悟（専修大学）
松原 聡（東洋大学）
矢口博之（東京電機大学）
横山真司（公益社団法人 著作権情報センター）

電子書籍の流通の概念図

一般に電子書籍は著者が書き上げた原稿を出版社が編集し、制作会社が電子書籍用のコンテンツデータに加工。出版社がそのデータと書誌データを電子取次経由ないしは直接電子書籍ストアに提供して、読者に届けられる。ただし、個人出版に関しては、出版社を経由しないで直接電子書籍ストアで販売されるものもある。



出典：『電子書籍制作・流通の基礎テキスト』（電流協 著 出版：ポット出版）を参考に作成

現在の電子書籍のフォーマット

【EPUB】現在の電子書籍のデファクトスタンダード

- XHTMLとCSS及び画像で作成されたコンテンツデータとXMLなどで記述された目次データなど関連したデータをZIP形式で圧縮したファイル。現在W3C (World Wide Web Consortium) が管理している。最新のバージョンは3.2。
- リフロー型とフィックス(固定レイアウト)型がある。
 - 小説などの「文字もの」はリフロー型が採用される場合が多い
 - 実用書などレイアウトが理解に大きな役割を果たすものは、フィックス型が採用される場合が多い(マンガはフィックス型)

【PDF】専門書などではPDFで流通しているものもある

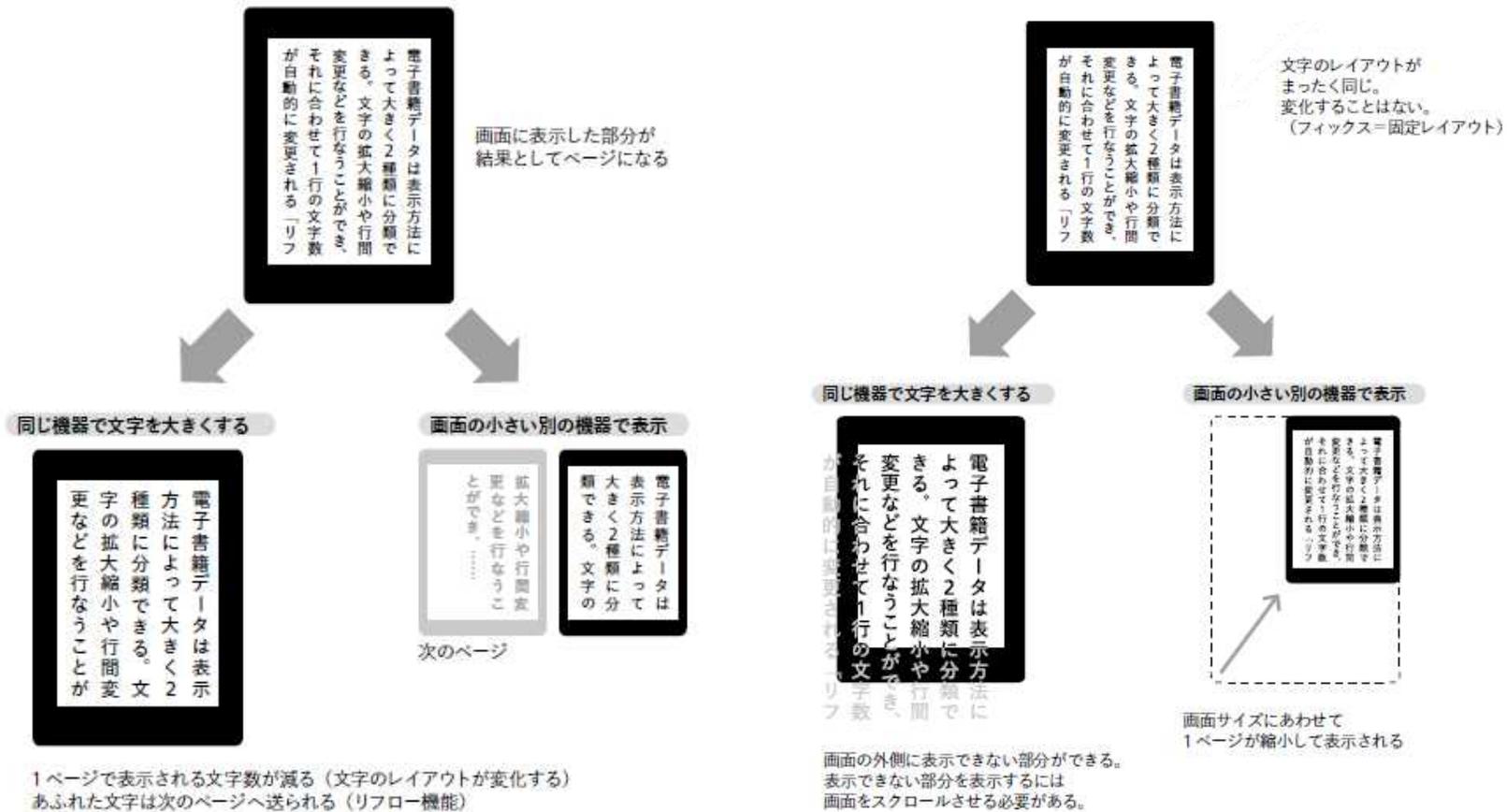
コンテンツの種類

・リフロー型

※データとしてテキストを持っている

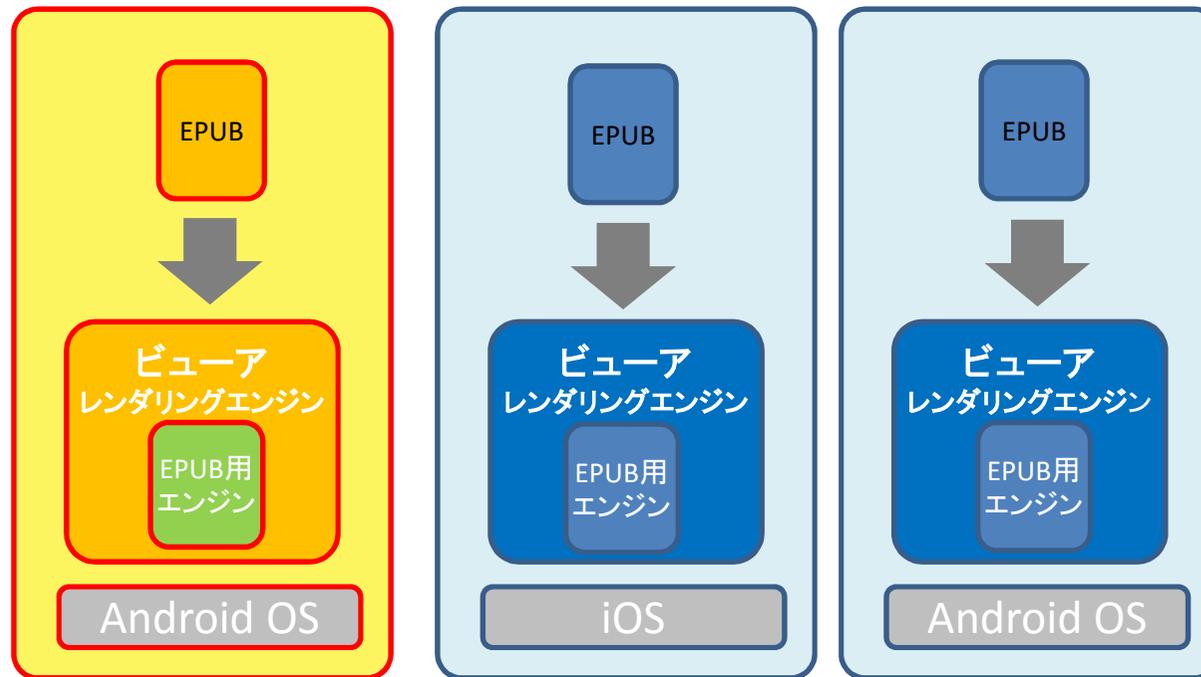
・フィックス型

※ページ全体が一枚の“絵”になっており、テキストは無し



出典：『電子書籍制作・流通の基礎テキスト』（電流協 著 出版：ポット出版）を参考に作成

電子書籍再生の仕組み



電子書店A

電子書店B

各電子書店は端末に搭載のOS（オペレーティングシステム）に対応したビューアを提供している。電子書籍のファイルフォーマットはEPUBがデファクトスタンダードであるが、PDFやその他のフォーマットのデータも流通しており、それぞれに対応したビューアが提供されている。

出典：『電子書籍制作・流通の基礎テキスト』（電流協 著 出版：ポット出版）を参考に作成

一般社団法人電子出版制作・流通協議会

電子書籍ストアのビューア（EPUB）

- 電子書籍ストアは各社専用のビューアを用意している。
- 機能としては、EPUBを正しく表示できるようなエンジンを備えたもので、しおりやマーカー、メモ機能、辞書機能など付加的機能を備えたビューアを提供する電子書籍ストアもある。またビューアには本棚の機能があり、購入した電子書籍を管理できるようになっている。
- 各電子書籍ストアはコンテンツの流出防止と購入者のみが閲覧できるようにDRM（デジタル著作権管理）を掛けている。
- ストアによっては音声付電子書籍などを配信しているところもあり、その場合にはコンテンツとともにビューアも音声対応が可能なものになっている。